

ひのようすい いもの 日野用水と生き物

日野用水は多摩川から水を取り入れています。ですから 多摩川からは魚を含む様々な生き物たちも入ってきます。基本的に用水は市内を流れる小さな流ということになります。しかし 多摩川などの自然な川は 大雨が降ると川底の大石をも転がすほどの激流となることもあり多くの魚や水生生物たちに多大な被害をあたえます。一方人工的に管理された用水では 川底の大石を転がす程の強い流れは起こりませんので 水生生物たちにとって住みやすい環境(環境多様性という意味では問題がありますが…)ということがいえます。

さて そんな用水にはどんな生き物たちが生息しているのでしょうか？

魚

オイカワ



カワムツ



タモロコ



モツゴ



ムギツク



カマツカ



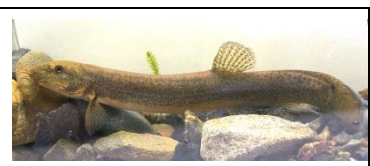
コイ



ギンブナ



ドジョウ



エビ カニ

日野用水には カニの仲間としてモクズガニが エビの仲間ではスジエビとヌマエビの 1種が生息しています。モクズガニは海に降って産卵を スジエビとヌマエビの 1種は川で産卵します。(ヌマエビの多くは海で産卵する種類が多い)

スジエビ



ヌマエビの1種



モクズガニ

